

2015 年 9 月 18 日

イベント メディアカンファレンス

JRC

出席者

勝田 範彦	(ラックスポーツ)
新井 敏弘	(SUBARU チーム アライ)
天野 智之	(豊田自動織機)
関根 正人	(ガレージセキネン)

司会: 代表質問いたします。JRCA メディア部会に所属しております伊吹と申します。本日来ていただいた選手は中央から JN6 クラス現在シリーズトップの新井敏弘選手、同じく JN6 クラスシリーズ 2 位の勝田範彦選手、JN5 クラス一番向かって右側ですね。JN5 クラストップの天野智之選手、それから北海道からエントリーしています 2013 年のラリー北海道ウィナーで現在シリーズは 3 位なのですが、関根正人選手、以上 4 クルー、4 選手に来ていただきました。

まず新井選手の方から質問したいと思います。

例年、新井選手はこのラリー北海道というのは APRC 部門で出場することが多かったんですが、今年、もちろん全日本トップということもあるんですけど、新型の VAB WRX STI で全日本クラスに出るということを決めたことですか、そういうことをお聞きしたいと思います。

新井: 当初ですね。APRC で出る予定だったんですが、富士重工さんの方と話をしまして全日本チャンピオンの方を取れるように頑張れという話になりまして、急遽、全日本の方にエントリーすることにしました。

司会: 具体的な仕様というのは昨年までは GVB 型の 4 ドアセダンの WRX だったんですけども、今年は全日本仕様というのは車の違いというのはどのあたりにありますか。

新井: そうですね。私のは N といっても R4 だったんでかなり軽量化も進んだり、いろいろピローが入ったりとかして車的にはすごく乗りやすい車になってまして、全日本特に今年の VAB は車重がちょっと重たいんですね。その分ちょっとフリーな部分はあるんですが、そこそこ車も煮詰まってきたんで、GVB みたいにはいけないですけど、近いような走りはできるかなと思います。

司会: 全日本ラリーシリーズなんですがこのあとまだ 2 戦を残してしまして、ターマック 2 戦を残してしまして、そのラリーが係数 1.0 になるのか 1.2 になるのかちょっとまだ揺れている部分がありますので、決まるか

決まらないかということなんですけれども、それを踏まえて、このラリーをどう戦うか決意のほどをお聞きしたいと思います。

新井: そうですね。このラリーは今まで 2005 年のときにジャンプで飛んでそのままひっくり返ったということが 1 回あるんですけど、それ以外はほんとにメカニカルトラブル以外はリタイヤしたことがないので、なんとか車だけ何もなければいいとこ行けると思ってるんで勝ちたいと思います。

司会: 続きまして、勝田選手にお聞きしたいと思います。現在シリーズ 2 位、追う立場でこのラリーを迎えました。新井選手と同じ新型の WRX STI での参戦となりますが、グラベル 2 戦目と、新型では 2 戦目となりますね。追う立場としてこのラリーをどう戦うかをお聞きしたいと思います。

勝田: はい。JN6 チームラックの勝田です。VAB の感触の方はすごくいいです。前回の福島から、前々回ですね。前々回の福島から導入して思ったより非常にいい動きをしてくれて非常に乗りやすいなというイメージが高いので、それにそのときはぶっつけ本番だったんですけど、足を煮詰めて来てるので、結果がどうであるかちょっと楽しみなんですけど。

司会: 昨年は勝てるラリーをタイヤバーストで落としてしまったというイメージが強かったんですが、今年は新井選手というこれまでに以上ない強敵、それからもちろん奴田原選手とか石田選手とか、そういった強敵がいるなかでこのラリーどういった決意で戦われますか。

勝田: そうですね。昨年も長いラリーに対しての準備ってのができてなかった。結果がああいう風になってしまったので、今回はその点とかブレーキ関係の辺とか、長い SS 走っても大丈夫なようにやってきたつもりなんですけど、あとそうですね。まずは明日の天候が気になるんで、明日は 1 日雨ということで、ほんとにヤムワッカ、クンネイワ、非常にスピードも高くて滑りやすいので注意して行きたいなと思います。

司会: シリーズ的には新井選手の上に行かなければならない。上の順位でゴールしなければならないという状況ではあると思うんですが、そこらへんはどうでしょう。

勝田: その辺は深く考えてなくて、本当に、世界の新井選手なんで胸を借りるつもりで頑張りたいと思っています。

司会: ありがとうございます。続きまして、JN5 クラスシリーズトップの天野選手にお聞きしたいと思います。天野選手も昨年の末からですね。新型車両ヴィッツ・ターボを導入しまして長丁場のラリー北海道には

初投入になると思うんですが、まずはヴィッツ・ターボという車自体のことと、長いラリーをどう戦うかというところをお聞きしたいと思います。

天野： 豊田自動織機の天野です。今年からですね。ヴィッツ GRMN ターボという 200 台限定のターボモデルを投入しました。ただ、基本はヴィッツですので、JN3 のときもそうだったんですが、いたわりながら走るところがあったんですね。ターボが付くことによってよりパワフルになってしまったので、スピードは出るんですが、やはりあおられたりとかですね。今までよりも高い入力にさらされてしまうので、そういったところで車を壊さないように、ということをお心がけなきゃいけない 1 点だったはずだったんですが、洞爺でももの見事に壊してしまったので、そうならないように今回は関根選手に離されてもですね、焦らないようにじっくりと完走目指してがんばりたいと思っています。

司会： 天野選手はこのラリーに優勝してデイポイントを 2 ポイント以上でも取れば、ほぼ今年のチャンピオン、他の選手の結果がどうであれ、チャンピオンが確定するという大一番でもあると思うんですが、そのあたりはどうでしょう。

天野： 正直、あまり気にしてないです。というのは、次のターマックも含めて比較的いい順位で上がれば付いてくる、タイトルが付いてきそうな形ですよ。逆にここであまり欲をかいてポイントが取れないという状況になってしまうのが、一番よくない状況だというのは理解していますので、その辺りはちょっと賢く、頑張りたいなと思います。

司会： 続きまして、最後、関根選手にお聞きしたいと思います。関根選手は洞爺、福島と連勝しまして、シリーズ途中からの参戦ながらもこのラリーを勝てば、シリーズチャンピオン争いに行く渦中にいるという状況ですが、まずその辺りはどうですか。

関根： もっと落ち着いてモンレーを戦えてればよかったと、反省しきりなんですけど、天野さんと一緒ですけども追い込まれた状態なので大事に勝ちに行つて初めて権利があるのかなと思つてます。

司会： 関根選手が乗ってらっしゃる三菱ミラージュは全日本の規定で来年から選手権クラスを走ることができない。今年が最終年になると思うんですが、そういった辺りのミラージュでの最後、特に、2013 年勝ってる車だと思うんですね。このラリーで、そこら辺はどう戦うかというところをお聞きしたいと思います。

関根： 元々、僕が 2 年前に勝つてからルール改正の話が始まったような噂も聞いておりますので、ここは責任を持って最後有終の美を飾りたいと思っております。

司会: もう 1 点。日本のラリー界では初めてだと思っんですけれども、関根選手を応援しようとクラウド

ファンディングで見事成功されまして、ラリー資金も調達することができました。全国にたくさんの方から応援があったと思っんですけれども、その辺り、逆にプレッシャーになったりとか、全国のファンの皆さんに何かメッセージはありますか。

関根: 本当にそのとおりで、たいへんなプレッシャーを感じておりますが、想像以上の支援をいただいたのでその気持ちを大事にラリーを戦っていきたいなと。この立場にいられるだけで幸せというか、ありがたい話なので、がんばってみなさんの期待に添えるようにラリーを戦っていきたいと思っんです。

司会: ありがとうございます。それでは質問を受けたいと思っんです。

(会場・質問なし)

それでは最後にお一方ずつ質問させてください。レッキが終わった時点でこのステージちょっと難しいな、っていうステージを 1 人 1 つずつ挙げてみてください。

勝田: ヤムワッカ。クンネイワ。雨の状況がどうなるか分からないんですけど、その辺り難しくて。

司会: 1 つって言いました(笑)

勝田: となると、全部なんですけど。イケダがちょっと怖いな、難しいだろうなと思っんです。

司会: 新井選手は今回ここは難しいなと思っるところ。1 つですよ。

新井: イケダのターマックが APRC の(勝田選手とつつき合い)...

司会: いやいや、同じでもいいですよ。勝田選手と。

新井: イケダが難しいかな。

司会: イケダのターマックというのは、いわゆる例えば、狭くて早いとか、ハイスピードだとか、テクニカルだとかいろいろなターマックがあると思っんですが、感じとしてはどんな感じなんですか。

新井：道自体は難しくないんですけど、たぶん APRC のトップ連中がカットをするので、あそこは舗装からワイヤロープまでの間が結構あって、その間が草がすごいので、たぶん道じゃないところみんな、特にグラベルタイヤのときにやるのでトップの連中はそうすると私なんかに通るときは全部グラベルかなと、いうくらい道がどこだか分からないほど汚いと思うんで、スリックじゃないだけまだいいんですけど、ちょっと難しいかなと思いますね。

司会：いわゆる泥とか砂利がかき出されるだろうと。

新井：そうですね。どこが道だから分からない状態だろうと思います。

司会：関根選手にもお伺いしたいと思います。ターマック以外で…（笑）

関根：雨のターマックは嫌いです！（会場爆笑）

司会：日曜日雨が降らない方がいいなと。

関根：雨… イケダがいやなんですけど。イケダまで勝負を引きずらないようにしたいと思います。

司会：分かりました。天野選手、今のは僕にも宣戦布告のように聞こえたんですけど。

天野：モンレーの反省の弁のようにも聞こえましたが…（会場・笑い）1 個だけと言われると最後に答えるのがなくなっちゃったような感じがするんですけど、雨っていうのが一番ポイントかなと思います。実は雨のラリー北海道ってそんなにないのかなって思います。違いましたっけ。降ってましたっけ。今まで。

司会：毎年、土曜日はよく降ることが多いです。

天野：そうですね。イケダ使われちゃったんで、舗装の混じったホンベツにしておきます。

司会：質問なければ、記者会見の方を終わりたいと思います。4 時からラリーショー、5 時から開会式、セレモニアルスタートとなります。SS1 もあります。ぜひがんばってください。健闘を祈ります。ありがとうございます。